

ジカディアを服用される方へ



監修 西尾 誠人 先生 公益財団法人がん研究会有明病院
呼吸器センター 呼吸器内科

はじめに

この冊子は、「ジカディア」を服用する患者さんに、お薬の飲み方や副作用、安心して飲み続けていただくための注意点などについてまとめたものです。

近年の医学の進歩により、患者さんに合ったお薬を選ぶことができるようになってきました。「ジカディア」も、そのひとつです。

「ジカディア」は、ALK*融合遺伝子陽性の非小細胞肺がんの治療に使われるお薬です。このタイプは100人のうち3～5人程度の割合で見つかるものですが、原因となっている遺伝子異常が解明され、それに対して効果を発揮する「分子標的薬」というタイプのお薬が開発されました。

効果が期待される半面、服用にあたっては、見逃してしまうと危険な副作用の症状などがありますので、本冊子をよく読んでいただき、分からない点や不安なことがありましたら、主治医または看護師、薬剤師に相談してください。不安はひとりで抱え込まずに、一緒に治療に向き合っていきましょう。

*ALKの読み方：アルクまたはエーエルケー

CONTENTS

- 肺がんのタイプと治療法…………… p.3
- ジカディアとは…………… p.4～5
- 治療の前に…………… p.6
- 服用方法…………… p.7～8
- 副作用について…………… p.9～18



肺がんのタイプと治療法

ジカディアとは

治療の前に

服用方法

副作用について

肺がんのタイプを検査で知ることで、効果的な治療法を選択することができます。

肺がんの約8割を占めるのが「非小細胞肺がん」です。「非小細胞肺がん」はさらに、いくつかのタイプに分かれます。

がんの原因となった遺伝子のタイプ別には「EGFR遺伝子に変異があるタイプ」や「ALK融合遺伝子が陽性のタイプ」などに分けられます。

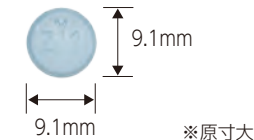
治療には、手術、放射線療法、薬物治療がありますが、肺がんのタイプや、患者さんの状態に合わせて、適した方法を選んで治療を行っています。



ジカディアは、「ALK融合遺伝子陽性の非小細胞肺がん」のためのお薬です。

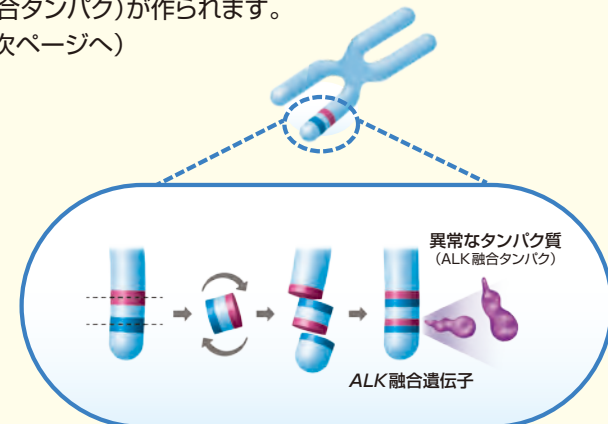
ジカディアで治療の対象となるのは検査でALK融合遺伝子が確認された進行がんの患者さんです。

錠剤



「ALK融合遺伝子」とは？

「ALK遺伝子」が何かのきっかけで「EML4遺伝子」などと結合してしまった異常な遺伝子のことです。この2つの遺伝子が結合した「ALK融合遺伝子」からは異常なタンパク質（ALK融合タンパク）が作られます。（詳細は次ページへ）

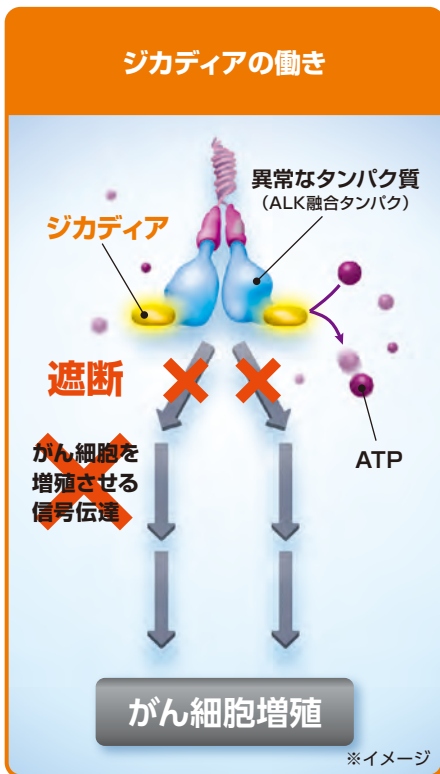
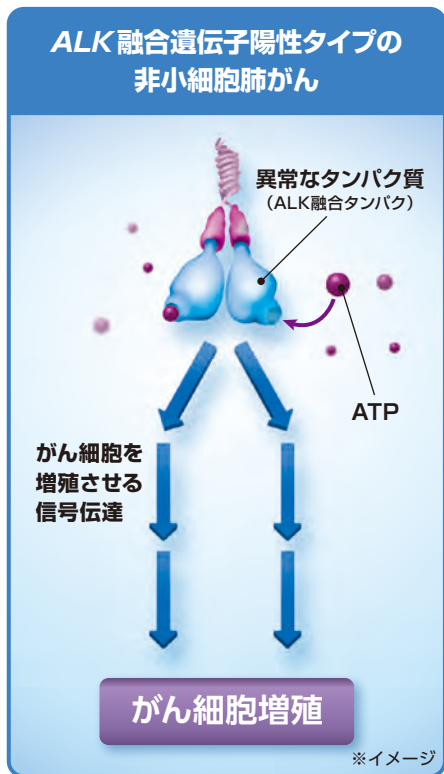


※イメージ



ジカディアは、^{エーディーピー}ATP (アデノシン^{さん}三リン^{さん}酸) がALK融合タンパクと結合できないようにすることで、がん細胞を増殖させる信号の伝達を止めて、がん細胞の増殖を制御します。

※ALK融合遺伝子陽性タイプの非小細胞肺癌では、「ALK融合遺伝子」から作られた異常なタンパク質(ALK融合タンパク)に、ATPが結合すると、がん細胞を増殖させる信号が常に出ている状態になります。



以下に該当する方は、主治医または看護師、薬剤師に相談してください。

- 間質性肺疾患のある方、または過去に間質性肺疾患のあった方
間質性肺疾患があらわれることがあります。
- QT間隔延長(心電図の異常)を起こす可能性のある方、または過去にQT間隔延長があった方
QT間隔延長(徐脈)があらわれることがあります。
- 肝臓に重度の障害がある方(特にコルヒチンを服用中の方はジカディアを使用できません)
肝機能障害があらわれることがあります。
- 妊娠している、または妊娠する可能性のある方
胎児に影響する可能性があるため、基本的にジカディアによる治療を受けることができません。
妊娠する可能性のある方は、ジカディア服用中および最後の服用から1ヵ月間は適切な方法で避妊してください。
ジカディア服用中に妊娠した場合には、すぐに主治医または看護師、薬剤師に相談してください。
- 授乳中の方
基本的にジカディアによる治療を受けることができません。
やむを得ず治療を行う場合は、授乳を中止する必要があります。





ジカディアの服用方法

このお薬は1日1回、食後に服用します。

※服用開始後の量の変更は、医師の指示に従ってください。

- 主治医の指示により、**ジカディアの量を減らしたり、一時的に中止したり、治療自体を中止することがあります。**
- 飲み合わせに注意が必要なものがあります。
食品や他のお薬に含まれる成分の影響で、飲み合わせによってはジカディアの効果が弱くなったり、副作用が強くあらわれる場合があります。
 - ・**ジカディアと一緒に使ってはいけないお薬があります。**他のお薬を使っている場合や、新しく使い始める前にも、必ず主治医または看護師、薬剤師に相談してください。
 - ・**漢方やサプリメント**が影響することもありますので、他のお薬と同様に、相談してください。



【保管方法】

小さなお子さんが誤って飲み込まないように、お子さんの手の届かない所に常温で保管してください。

よくある質問

Q 飲み忘れに気づいたら？

飲み忘れに気づいたら、その当日は無理に服用をせず、次の日からまた1回分ずつの量を服用してください。決して服用の間隔を縮めたり、2回分の量を一度に服用しないでください。



Q 量を間違えて多く飲んでしまったら？

すぐに主治医または看護師、薬剤師に連絡してください。副作用が強くあらわれる場合があります。



Q その日の体調などによって、飲むのをやめたり、量を変えても大丈夫？

自分の判断で飲むのをやめたり、量を変えたりしないでください。期待される効果が得られない可能性があります。必ず、医師の指示に従って服用してください。

Q グレープフルーツと一緒に服用してもよいですか？

服用中は、グレープフルーツ(グレープフルーツジュースを含む)を食べないようにしてください。副作用が強くあらわれる可能性があります。



ジカディアの注意すべき副作用

ジカディアの治療が原因で、副作用があらわれる場合があります。副作用には個人差があり、すべての方にあらわれるわけではありませんが、そのうち回復する場合もあり、症状を抑える別のお薬を飲むことで対応できる場合もあります。

しかし、なかには見逃すと深刻な状況になってしまう副作用もあります。

副作用のあらわれ方は一人ひとり異なりますので、気になる症状があらわれたら、主治医または看護師、薬剤師に相談してください。



特に注意すべき副作用

- 肝機能障害 p.10
- QT間隔延長（徐脈） p.11
- 間質性肺疾患 p.12
- 高血糖・糖尿病 p.13
- 悪心（吐き気）、下痢、嘔吐 p.14
- 肺炎 p.15
- 心膜炎 p.16
- 感染症 p.17

肝機能障害

肝臓の働きが低下する場合があります。

場合によっては、重度の肝機能障害や肝不全になる可能性もあります。早期発見のために、治療中は肝機能検査（血液検査）を定期的に受けましょう。



こんな症状が出たら、すぐに主治医または看護師、薬剤師に連絡してください。

- 体がだるい
- 皮膚や白目が黄色くなる
- 悪心（吐き気）、嘔吐、食欲がなくなった
- 尿が濃い褐色になる





QT間隔延長（徐脈）

心電図検査で見つかる異常で、軽い場合は症状がありません。生まれつき心臓に異常がある場合は、先天性QT延長症候群と呼ばれます。脈が遅くなると徐脈といわれ、めまいや息切れなどの症状があらわれます。いずれの場合も悪化すると動悸や失神、不整脈による突然死の原因となります。また、心疾患のある方、または心疾患にかかったことのある方は特に注意が必要です。下記の症状がみられる場合は、主治医または看護師、薬剤師に相談しましょう。



QT間隔延長（徐脈）が起こると、以下のような症状が出ることがあります。主治医の指示に従って、適切に心電図検査を受けてください。

- 動悸
- 立ちくらみ
- 失神した



間質性肺疾患

肺の「間質^{かんしつ}」と呼ばれる部分に炎症が起こる場合があります。息切れや呼吸がしにくくなったり、咳、発熱などの風邪のような症状から始まります。症状が進行すると致死的な経過をたどる場合がありますので、症状があらわれたら、すぐに主治医または看護師、薬剤師に連絡してください。



こんな症状が出たら、すぐに主治医または看護師、薬剤師に連絡してください。

- から咳（痰のない咳）
- 息切れ（呼吸困難）
- 発熱



「ただの風邪だから」……
「今までも同じような症状があったから」……
「ちょっと様子をみよう」……

風邪だと思っても、大丈夫と決めつけずに、些細なことでも相談してください。



高血糖・糖尿病

血糖値が高くなることがあります。
初期には症状はありませんが、検査で確認することができます。
早期発見のために定期的に血液検査を行いますので、必ず検査を受けましょう。



こんな症状が出たら、主治医または
看護師、薬剤師に相談してください。

服用を始めてから……

- よくのどが渇く
- トイレに行く回数が増えた
- 疲れやすい、体がだるい
- 食べても食べてもやせる



悪心（吐き気）、下痢、嘔吐

悪心（吐き気）、下痢、嘔吐があらわれる場合があります。あまり我慢せず、主治医または看護師、薬剤師と相談してみましょう。



こんな症状が出たら、主治医または
看護師、薬剤師に相談してください。

服用を始めてから……

- 悪心（吐き気）がする
- 下痢の回数が増えた
- 吐くようになった



アドバイス

悪心（吐き気）・嘔吐対策

服用時には、胃に長くとどまる油分の多い食べものをなるべく避けましょう。



下痢対策

下痢が続いたら無理をせず、主治医または看護師、薬剤師に相談しましょう。
脱水症状にならないよう、水分をこまめにとりましょう。





膵炎

膵臓に炎症が起こる場合があります。血液中のリパーゼやアミラーゼという脂肪やでんぷんを分解するための酵素が増加することがあります。早期発見のために、治療中は膵機能検査（血液検査）を定期的に受けましょう。



こんな症状が出たら、主治医または
看護師、薬剤師に相談してください。

- 腹痛
- 悪心（吐き気）・嘔吐
- 背中の痛み
- 食欲不振
- 発熱



心膜炎

心臓を包む「心膜しんまく」と呼ばれる部分に炎症が起こることがあります。その原因は、風邪や胃腸炎などを起こすウイルスと同じものが多いことが知られています。

最初は咳や発熱といった風邪のような症状がみられ、やがて胃のむかつきや腹痛、全身のだるさなどの他、胸に鈍い痛みが出てきます。場合によっては、意識消失、突然死につながる場合があります。症状があらわれたら、主治医または看護師、薬剤師に連絡してください。



こんな症状が出たら、主治医または
看護師、薬剤師に相談してください。

- 発熱
- 全身のだるさ
- 胸の痛み





感染症

主に肺炎などの感染症が起こることがあります。肺炎は風邪をこじらせた程度でもなり得る疾患ですが、適切な治療をしないと致死的な経過をたどる場合があります。肺炎によくみられる主な症状は、咳や痰、発熱です。

症状があらわれたら、主治医または看護師、薬剤師に相談してください。



こんな症状が出たら、主治医または看護師、薬剤師に相談してください。

- 咳
- 痰
- 発熱



特に注意すべき副作用のまとめ
ジカディアを服用し始めてから、このような症状が出たら、病院に連絡してください。



- 体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる、悪心(吐き気)、嘔吐、食欲がなくなった、尿が濃い褐色になる

肝機能障害の可能性がありますが ⇒詳しくはp.10



- 動悸、立ちくらみ、失神した

QT間隔延長(徐脈)の可能性がありますが ⇒詳しくはp.11

- から咳(痰のない咳)、息切れ(呼吸困難)、発熱

間質性肺疾患の初期症状の可能性がありますが ⇒詳しくはp.12



- よくのどが渇く、トイレに行く回数が増えた、疲れやすい、体がだるい、食べても食べてもやせる

高血糖・糖尿病の可能性がありますが ⇒詳しくはp.13

- 悪心(吐き気)がする、下痢の回数が増えた、吐くようになった

⇒詳しくはp.14

- 腹痛、悪心(吐き気)・嘔吐、背中痛み、食欲不振、発熱

膵炎の可能性がありますが ⇒詳しくはp.15

- 発熱、全身のだるさ、胸の痛み

心膜炎の可能性がありますが ⇒詳しくはp.16

- 咳、痰、発熱

感染症の可能性がありますが ⇒詳しくはp.17

